

令和4年度 医療技術等国際展開推進事業 中国における病診連携促進のための研修事業
特別企画：病診連携の推進

進行役

杉浦康夫 国立国際医療研究センター 国際診療部

日本側講師・演題：

国際診療部 日野原千速：「患者の健康、医療の安全と質の向上を目指した国際的な医療連携の提案」

中国側参加者：(詳細別紙参照)

鄭新宇 中国医科大学附属第一病院乳腺外科主任・教授

呉高松 武漢大学中南医院甲状腺乳腺外科主任・教授

盧静華 中国科学院 AI と遠隔医療部署 副主任医師・顧問

中国における病診連携促進のために、中国内のみではなく日本との関係性を持たせていく方法を提案し、がん治療を対象として日本で行われている病診連携を紹介した(※1)。また、今後の両国における医療連携を視野に入れ、医療の質を保つため、患者受入国の医療機関は、患者自国の中核病院や地域の医療機関との連携の必要性も考慮し、中国側参加者としてディスカッションを行った(※2)。今回のディスカッションで明らかにされたのは、中国では、患者中心の医療が行われているが、患者紹介などは、病院間ではスムーズに行われていないことである。日本と中国の医療機関の連携は、患者さんの治療のみならず、患者さんが自国に戻ってからの長期フォローアップを含めて、連携を構築していく可能性が示された。今回の発表時にオンラインで中国側へ中継され、視聴者は635名であった。

日時：2023年2月6日(月) 午後4時から午後6時

場所：NCGM 研修棟セミナー室5

スケジュール(案)

16:00-16:10 開会の挨拶 杉浦康夫

16:10-17:00 発表 日野原千速 「患者の健康、医療の安全と質の向上を目指した国際的な医療連携の提案」(※1)

17:00-17:15 質疑応答

17:15-17:55 ディスカッション(※2)

17:55-18:00 閉会の挨拶 杉浦康夫

使用言語：日本語・中国語(逐次通訳)